

## 3学年通信

平成30年11月30日

NO. 9

(文責 片井)



## 後期人權同和教育句問

- 11月は後期人権同和教育旬間で、全校で人権について改めて考えました。5日に校長講話で校長先生から「いじめはいけないと分かっているのになぜなくならないのか」という課題が出されました。
- ・悪いことだということは皆分かっているのに、どうしていじめなどがなくならないのか私はその理由は相手の気持ちを考えることができない、または知ることができないからだと思います。耳はありますから、口から出る言葉を聞くことはできても、相手の心の声を聴くことはできない。テレビのように客観的に見れば登場人物の気持ちを考えることができても実際に自分がいじめる、いじめられるなどの立場に立てば自分の事で精一杯で相手の事なんて考えられない気がします。いじめなどを無くすには日頃から相手の気持ちを考える、知ろうとしていくことが大切だと思います。そして時には自分の気持ちをはっきりと言うことも大切だと思います。いじめる、いじめられるなどの立場に立ったとき、もし相手の痛みや悲しみを知ることができればなくせるいじめもあると思った。
- ・たった一秒の言葉でも、その言葉には気持ちがあってそれは時に人を傷つけるものにもなると言うことが分かった。たった一秒の言葉でも気分に任せて発するのではなく、責任を持って発するようにしたい。冗談で、ふざけて言った言葉でも相手は本気にするかもしれない。そういうことがいじめにつながるのかなと考えた。
- ・たった一秒であいての気持ちを変えることは簡単だけど、その一秒の言葉は重いんだなと感じました。傷つける言葉もたくさんあれば、楽にしてくれたり、良い気分になる言葉もたくさんあるんだなあと思いました。皆、いじめや悪口はいけないことだという意識がうすれていくのが怖いと思いました。
- ・校長先生からたった一秒の言葉にもちゃんと心があると聞いて、普段の生活でも、その心をよく考えて言葉を選んで話さないといけないと思った。たった一秒の言葉だけで、人の心は嬉しくなったり悲しくなったりするけれど、その心の変化を外に出さないことが多い気がするから、校長先生も言っていたように、自分を客観的に見れるようにしていこうと思った。また、自分の弱い部分があっても、それを他の人の悪口などでかくすようなことは絶対にいけないし、それは自分の中での弱い部分でもあるから日常生活で気を付けるべきだと思った。

今回の旬間では、部落差別について学習しました。現在も残る差別について、身近に起こった結婚差別についてビデオ鑑賞することを通して学習を深めました。

- ・僕は好きになった人が被差別部落の人でも受け入れると思います。なぜなら昔の偏見から始まった差別をそのままずっと言い続ける必要がないので、良いと思う。この人権同和教育で色々と差別について学んだけれど、ハンセン病など見た目などのことはどうしようないことだし、部落差別も昔はすごい人達が差別されていたということがおかしいので、差別をなくすために自分にできることがやっていきたい。
- ・もし、結婚する相手が同和地区出身だったら、もしかしたら別れるかもしれないと思いました。両親や親戚色々な人に迷惑をかけるかもしれないし、妹、弟もこの先私が同和地区の人と結婚したら、結婚できなくなってしまうかもしれないので。私の勝手な思いで結婚するのは・・・と思いました。でも、そのような差別があることがおかしいと思いました。意味の分からない差別を受けながら、乗り越えていた健さんと美子さんはすごいと思いました。



- ・私はその人が好きだから被差別部落の人でも、それを受け入れると思う。これで自分が 差別されるようになっても、その人の苦しみを半分でも分けてほしいから二人で生きていけ ば良いと思った。
- ・差別は人の心が生み出したものだから、かぜのように薬で治すことはできない。そもそも人の心が生んだものだから、私たちがいかに差別に対して関心を持つというか、考えていくことが大事だと思った。人の心に根付いてしまっている気持ちを変えることは難しいように見えるけど、逆に言えば人の気持ち次第で変えてくことができると思うから、差別について一人一人が、自分自身がもっと考えていけるといいなと思います。

## お知らせ

- ・来週12/10(月)より保護者懇談会があります。時間については担任より一覧表が出されています。再度確認をしていただきますようお願いします。15分と限られた時間ですので、事前にご家庭で話し合っておいていただき、進路選択の向けて良い時間となるように、ご協力お願いします。
- •「入学者選抜に関わる出願事務依頼書」が配布されます。印鑑は朱肉を使って押印してください。締切は12月18日(火)です。
- •保護者懇談会で下校が早くなります。家庭学習をし、充実した時間を過ごしてください。